



竹

光る地面に竹が生え、
青竹が生え、
地下には竹の根が生え、
根がしだいにほそくみ、
根の先より纖毛が生え、
かすかにけふる纖毛が生え、
かすかにふる。

クローズアップ CLOSE UP

自由に詩を受け取って

6月7日から9月21日まで前橋文学館で第32回萩原朔太郎賞受賞者最果タヒ展を開催。高校生による詩の群読や俳優の青柳いづみさんによる詩の朗読会を実施しました。また、受賞作や書き下ろしの新作を含む詩のインスタレーションで埋め尽くされた空間で人々を魅了しました。



泳いで走って笑顔咲く

9月7日、群馬大荒牧キャンパスや敷島公園などを会場に、前橋トライアスロンフェスタを開催しました。県内外から多くの参加者が集まり、水泳・自転車・ランニングの3種目に挑戦。未就学児や障害のある人も参加し、のびのびと競技に取り組みました。



伊東大臣が本市を視察

8月30日、内閣府特命担当大臣（地方創生）・新しい地方経済・生活環境創生担当大臣・伊東良孝氏が本市を訪問。市長やまちづくりに取り組む関係者と意見交換をしました。その後、中心市街地などを視察。若く起業した人と交流する場面もありました。



CITY WATCHING

毎月1日にまちづくり公社が発行するフリーペーパー・前橋まちなか新聞。平成29年6月の創刊から、まちなかの店舗やイベント情報などを発信し、9月で100号発行の節目を迎えた。制作を担当する石川さんは店主のルーツを探るコーナー「店主のゝつば」に携わっている。「新しくできた店舗や老舗、スタッフが気になっている飲食や物販など、さまざまなジャンルの店主を紹介しています。コンセプトは店主の人柄に触れること。どんな人が営んでいるかを紹介することで、店を知ってもらうことにつなげています」と石川さん。自身もかつて店主として取材を受けた一人だ。「店の話はもちろん、当時プレー

していたラグビーの話などをしていました。今は取材をする側になりましたが、出店したきっかけや趣味の話聞いて記事にすることで、店主の人柄を伝えられるよう心掛けています」と話す。「まちなかを歩くと知り合いに会うことが多くなってきました。最近では若い人が出店するところが多かったり、視察でまちなかに訪れる人がいたり、まちなかが変化し、注目されていると感じています」と石川さん。「この新聞を読んだ人に店主の人柄が伝わり、そこから何かを感じてくれたらうれしいです。まだ知らない店舗もあり、これらの取材が楽しみです」と意気込む。これからは前橋まちなか新聞はまちなかの今を伝えていく。

いきいき
まえばし人
前橋まちなかエージェンシー
石川 瞳さん・34歳
朝倉町三丁目

まちなかで働く人の人柄に触れて



前橋ウィッチーズ 通信

chap.1 前橋ウィッチーズってなあに？



☎ 観光政策課
☎ 027-257-0674



本コラムでは、本市を舞台にしたアニメ「前橋ウィッチーズ」に関するさまざまな話題をお届けします。本作は、今年4月から6月にかけて群馬テレビなどで放送されたオリジナルアニメで、5人の女子高生が魔女見習いとして悩みを抱える人々の願いを叶える姿を描いた成長物語です。本市に暮らすキャラクターとその風景がリアルに描かれています。ストーリーでは、現代の若者が抱える社会的な課題に触れられ、放送後もメインキャラクターを演じる声優ユニットの人気などにより注目を集めています。

を歩けば、前橋の景色の中に魔法が溶け込み、高揚感が胸に広がります。市内食品関係企業や飲食店ではコラボ商品を販売。ふるさと納税の返礼品として登録された商品もあり、味わうたびに作品の世界を感じ、地元の魅力も一緒に楽しめます。さらに、市内を走る上毛電鉄では、キャラクターが描かれたラッピング電車が運行中。メインキャラクターの5人の名前には、三俣・上泉・北原・新里・赤城など、実際の駅名が使用され、各駅ではキャラクターのパネルが迎えます。食べて、見て、感じて、前橋の街歩き楽しさを体いっぱい味わえます！



ガスパ群馬とのコラボマッチ開催決定！詳しくは、本紙32ページをご覧ください